

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

■ ふれあい倉庫情報

【多目的ホール】

高橋哲夫 油絵展

▼日時 5月3日(火)～8日(日) 9時～17時

▼内容 風景、花等の油絵展示。

▼主催・問合せ 高橋 (☎ 22 - 1255)

手作りこども服&小物レトロ雑貨 in 当別

▼日時 5月20日(金)・21日(土)

10時～15時30分

▼内容 北広島と札幌の小さなお店がふれあい倉庫にやってきます。こども服から雑貨までお楽しみに。

▼問合せ 福井 (☎ 090 - 6261 - 9010)

坂本史顕 写真展

▼日時 5月22日(日)～29日(日) 9時～18時

▼内容 風景、動物、昆虫、人物等、ジャンルに捉われない様々な写真を多数展示。

▼主催・問合せ 坂本 (☎ 090 - 3113 - 7173)

初心者向け 菊作り講習会

▼日時 6月4日(土) 13時30分～15時

▼内容 さし芽から各種大菊・小菊の作り方をお話します。当日は、菊の苗を提供します。

▼参加料 無料

▼問合せ 当別菊花同好会 清野勲 (☎ 22 - 3452)

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

FIKAでは特産品販売、観光イベント情報の提供や各種パンフレットを配置しています。また、ミニギャラリーでは各種作品展示会を開催しています。

【5月の展示会】

「うま旅」・石狩ホーストレックの馬と当別を旅する

▼内容 石狩ホーストレックの日常と馬上から見る美しい当別の風景を写真とグッズで紹介します。

▼展示期間 5月2日(月)～30日(月)

▼問合せ 大城 (☎ 011 - 770 - 4100)

<町民ポータルサイト>

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新していますので、ぜひご覧ください。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388)

商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成23年4月11日(月)

今日当別町から、大崎市へ未曾有の震災の復興支援金をお贈りした。

地震発生から丁度1ヶ月が経ち大崎市の方でも少し落ち着いた感じで8,000人いた避難所の人達も殆どいなくなったらしく、市役所も復旧業務に集中出来るようになったようで、少しでも用立てていただこうと思って「当別町」として振り込んだ。

おはよう町長室に「私達のお小遣いでチャリティ活動をした募金です。」と云って、小学6年生のグループが来てくれた。

町民の皆さんが、100以上の団体で義援金を募ってくれているので、今月末頃には相当集まると見込めるので、まとまったら当別の「町民」からとして大崎市へお贈りする事にしている。

宇和島市の石橋市長さんとも電話で大崎市の復興支援について、いろいろと話し合いをした。

今回の被害総額が20兆円とも言われるが、大崎市は内陸なので被害は少ない方だが、それでも当別町の予算規模なら復興に何十年もかかる被害額だろう。

町民の義援金を振り込んだらすぐ、当別で人気が出て栽培が増えてきたチューリップに全町民の願いを託して、チューリップの鉢植えを大崎市へお届けに上がりたいと思っている。

チューリップは“希望”と“前進”が花言葉だと聞いたからである。

先日、尊敬する歴史家が天災に関して「恰値天人革命時」と言う難しい話をされた時に「天と人とは理でつながっていて、時には革命のような事もあるものだ」と言われた。

丁度、今から40年前の統一地方選挙の時、私は若干33歳で“未来をノックする”などと生意気なキャッチフレーズを作って町議に立候補したが、あの時は、26議席を争って33人の立候補者がいて、今も生きておられる人は4人だけになってしまったが、40年後に私ごときが当別の旧恩ある「みちのく大崎」へ“希望と前進”の使者になるなど想像もしなかった。

今年はいれから11回目の町議選挙の年で人口は18,490人で40年前とほぼ同じだが、議員定数は9人も減少しているのだから、1議員の責任は随分大きいので、議会と理事者が切磋琢磨して、将来この町にどんな災が降りかかってきても対応出来る力を養っていかねばならないとつくづく考えさせられている。

当別町長泉亭俊孝